

地元発 マッチィング・プラットフォーム「寄り藍」を開設

徳島藍ジャパンブルー推進プロジェクト



徳島の地域特産資源「徳島(阿波)藍」を使ったものづくりを支援する徳島県内の企業を中心とした官民連合のコンソーシアム「徳島藍ジャパンブルー推進プロジェクト」(代表:小濱利郎)は、徳島藍を活用した新たなビジネスの創出を目的に、藍関連の製品化支援に特化したマッチィング・プラットフォーム「寄り藍(よりあい)」をスタートしました。日本における藍の一大産地・徳島で栽培された「阿波藍」から伝統技法を用いて生産される染

Jewelit 18

料すくもは、藍染めの原料として世界的にも高い評価を受けています。このプロジェクトの参加企業は以前より、徳島藍の大量かつ安定的な原料確保や、藍を活用した新商品開発をするなど、共同で様々な活動を進めてきました。木材を藍で染めた“藍杉のフローリング”、皮革を藍で染めた“藍革小物”、藍を使った“藍のロールケーキ”や“藍のマカロン”など、藍を使った新しい発想の商品を続々開発中です。<http://yorai-ai-blue.org>